

授業科目名	ドレーピング&製図	講師名	中島 由紀子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義・実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	平面製図で行っていたものを、立体ボディーを使用し、実際の布(シーチング)をあて型紙をつくる。		
授業の到達目標・ テーマ	実際のボディーのフォルムに合わせてながら、ライン、ダーツをとり形を表現していく。その後でパターンの仕組みを理解する。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	パターン検定3級、シーチング、シルクペン、定規		
授業課題	フォルムに合わせてラインが見れているか、布目が合っているか、ピンの打ち方、布の扱い方などチェックする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度 /1年・前期/37.5時間(通年87.5時間)	
授業計画及び学習の内容			
回	月日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4/10	(4/7オリエン)	オリエン
2	4/17		基礎縫い
3	4/24		セミタイトSK
4	5/1		セミタイトSK
5	5/8	原型	*シーチングの扱い方
6	5/15	↓	*アイロンのかけ方
7	5/22		*ピンの打ち方
8	5/29	↓	*縫い代の付け方
9	6/5		*組み立て方
10	6/12	セミタイトSK	*ラインの修正
11	6/19	↓	
12	6/26		
13	7/3		
14	7/10		
15	7/17		前期終了ショー
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 説明・講義をしてから実習を行う。担当教員は株式会社キングなどでパタンナーとして勤務した経験があり長年の現場経験を活かし実践に即した製図・ドレーピングの授業を展開する。			

授業科目名	スタイル画/デザイン演習	講師名	石川 和男
授業方法(講義・演習・実技)	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	1.造形作品を制作するための修練としてデッサンを行うことで、造形力・視覚的感性の向上をはかりバランス感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画描画テクニックと表現力を身につける。(アウトライン、着彩) ※後期アイテム名称、部分デザイン名称等について		
授業の到達目標・テーマ	ファッションスタイル画表現技法 デザイン、ドローイング用具の使い方		
企業連携(連携企業)	特になし		
使用教科書 他教材	中型石膏デッサン用具、デザイン画用具		
授業課題	製作課題評価、ペーパーテスト(後期:アイテム・部分名称)		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/1年前期/35時間(通年87.5時間)	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月6日	休校(入学式)	
2	4月13日	授業オリエンテーション・デッサン用具準備	用具説明・準備、水張り、鉛筆削り
3	4月20日	石膏デッサン1(描始め)	構図、描き出し
4	4月27日	石膏デッサン2	大きな形と構図修正
5	5月11日	石膏デッサン3	陰影の描き分け、描き込み
6	5月18日	石膏デッサン4	描き込み
7	5月25日	石膏デッサン5	細部描き込み
8	6月1日	石膏デッサン6(仕上げ)	仕上げ、講評会
9	6月8日	人物クロッキー	10分クロッキー、服や布、人体構成バランス練習
10	6月15日	スタイル画1	8-9頭身ヌードバランスアウトライン
11	6月22日	スタイル画2	頭部(顔)、細部(手・脚)描画練習
12	6月29日	スタイル画3	応用ポーズ、ポーズ模写
13	7月6日	スタイル画4	スタイル画3作品をもとに着装(布・アイテムの表現)
14	7月13日	スタイル画5	スタイル画4をもとに着彩(マーカー、ミックスメディア)
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] デッサン用具の説明から入り、石膏デッサンの表現技法を習得、スタイル画のテクニックを身につける。 担当教員は株式会社ポイントアップ(ワコール)、JEANSブランド等々のデザイナーとして活躍。デザイナーとしての現場経験を活かし、ファッションデザインコンペに向けた作品製作の授業を展開する。			

授業科目名	Mac演習1	講師名	梨本 雅子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	演習・実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得		
授業の到達目標・ テーマ	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	なし		
授業課題	課題作成による知識と技術/期末テストによる基礎知識確認		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/1年/87.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月6日	入学式	
2	4月13日	授業内容及びソフトウェアの説明・設定	イラレ・フォトショの違い・LANDISK個人フォルダ作成
3	4月20日	ソフトウェア操作方法の取得	イラレの使い方説明→自己紹介作成
4	4月27日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショの使い方説明→フォトショ写真加工①
5	5月11日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ クリッピングマスク
6	5月18日		↓
7	5月25日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショ・イラレ カラーシェイプ作成
8	6月1日		イラレ トレース
9	6月8日		↓
10	6月15日		↓
11	6月22日		トレース提出
12	6月29日	期末テスト	期末テスト(筆記)
13	7月6日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショ 画像加工練習
14	7月13日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショ フィルターその他ツール練習
<後期Ⅰ・Ⅱ>			
1	9月7日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ デザイナーMap作成
2	9月14日		↓
3	9月28日		↓
4	10月5日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレトレース練習課題&名刺作成
5	10月12日		↓
6	10月19日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ運動 オリジナルロゴデザイン
7	11月2日		↓
8	11月9日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ運動 雑誌広告デザイン作成課題
9	11月16日		↓
10	11月30日		↓
11	12月7日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ ハンガニーイラスト作成課題
12	12月14日		↓
13	12月21日		↓
14	2021年1月18日		↓
15	1月25日		↓
16	2月1日	期末テスト	期末テスト(筆記及び実技)&ライブペイントによる柄付け
17	2月8日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	ハンガニーイラスト提出
18	2月15日	ショー週間	
19	2月22日	ショー週間	
20	3月1日	ショー本番(振替)	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] ソフトウェアの説明・講義をしてから操作方法を取得させ、具体デザインを作成する。 担当教員は株式会社ワールドで新ブランドを立ち上げ、企画デザイン、MD、VMD、グラフィックデザイン等を担当。 豊富な実務経験を活かし業界の即戦力となるための授業を展開する。			

授業科目名	カラー	講師名	堀川 彩里
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義、演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	1. AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、AFT色彩検定3級の取得を目指す 2. イメージに合わせたカラーコーディネート 3. パーソナルカラー(人それぞれに合う色)概論		
授業の到達目標・ テーマ	1→ AFT色彩検定3級の習得及び、AFT色彩検定3級の習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。 2→表現したいファッションイメージに合わせてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 3→パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなど それぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	AFT色彩検定3級公式テキスト、199bカラーカード、カラーカードリング、のり、はさみ、色鉛筆、絵の具、教科担当の資料、 プリント配布(各項目のレジュメ、各項目の小テスト、模擬テスト他)、プロジェクター、ホワイトボード、カラードレープ、鏡		
授業課題	授業内提出物、小テストや模擬テスト		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/1年前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	Apr14日	・色彩検定について	色彩検定の概要や取得目的を知る
2	Apr21日	・色の表示2	PCCS
3	Apr28日	・色の表示3	PCCSの色票制作
4	May12日	・色彩心理2	色の視覚効果 配色と配色演習→提出
5	May19日	・PCCSを用いた色彩調和1 ・ファッションと色彩	ファッションビジネスの世界と流行色、ファッションコーディネート(配色をファッションを通して習得)
6	May26日	・PCCSを用いた色彩調和2	配色と配色演習→提出
7	Jun2日	・配色イメージ	色の三属性(色相、明度、彩度)やトーンを用いた配色イメージ
8	Jun9日	・検定直前対策1	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心*
9	Jun16日	・検定直前対策2	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心*●インテリ
10	Jun23日	・検定直前対策3	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心*
11	Jun30日	・検定試験答え合わせ	色彩検定3級公式テキストの8種類の配色イメージをイメージスケールを使用し理
12	Jul7日	・イメージに合わせたカラーコーディネート2	色彩検定3級公式テキストの8種類の配色イメージをイメージスケールを使用し理
13	Jul14日	・パーソナルカラー概論	パーソナルカラー理論の知識を深め、パーソナルカラーを使ってカラーコーディ
14		・テスト	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] AFT色彩検定3級の取得を目指す授業だが、アパレル業界で活躍できるようカラーコーディネートの基本を習得する。 担当教員はAFT色彩検定協会の認定講師として、アパレル企業や小売企業のVMDやカラーコーディネートの指導にあたっている。			

授業科目名	ファッション素材学		講師名	古賀 由紀夫
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース		分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義		場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売などに役立つ。			
授業の到達目標・ テーマ	アパレルの各種素材を理解し、その取り扱いを把握する。			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材	アパレル素材の知識 一見輝彦			
授業課題	各素材について確認テスト課題をする			
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)		2020年度 /1年・後期/60時間	
授業計画及び学習の内容				
回数	月日	ステップ・課題目的・目標	内容	
1	9月4日	オリエンテーション		
2	9月11日	繊維の分類、名称	*当日テーマの素材サンプルを実際に用意し、	
3	9月18日	織物の三原組織	学生に体感させてその特徴を理解させる。	
4	9月25日	織物実習		
5	10月2日	糸について		
6	10月9日	グリーンブックの作業		
7	10月16日	グリーンブックの作業		
8	10月23日	基本的な柄の名前		
9	11月6日	秋冬の布		
10	11月13日	編み物について		
11	11月20日	裏地、芯地		
12	11月27日	テスト		
13	12月4日	デニム、ジーンズについて		
14	12月11日	レースについて		
15	12月11日	皮と毛皮について		
16	12月18日	不織布、フェルトについて		
17	12月25日	プリント、染色について		
18	1月15日	繊維の見分け方		
19	1月22日	加工について		
20	1月29日	テスト		
21	2月5日	フォーマルウェアの素材		
22	2月12日	子供服、老人服		
23		テスト		
24		テスト		
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 講義と実習を織り交ぜながら、素材の知識を深めていく。 担当教員は、数多くのデザインコンテストの受賞経験があり、マスコミの取材も多い、業界でもトップクラスのスペシャリストで、世界中の素材に精通し、学生の疑問にも即座に回答して授業を展開している。				

授業科目名	服飾技術実習	講師名	鷺 典子、中島 由紀子、荒井 光
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	①縫製技術を学ぶ、②基礎製図を学ぶ		
授業の到達目標・ テーマ	①平面で製図したもので、用布を裁断・縫い合わせ・立体化し服の形となっていく工程の理解と縫製仕様の習得。②各身体のサイズの把握、パターン用語の習得。デザイン画を読み取り、パターンに反映する技術。		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	教科書・プリント		
授業課題	作品・試験		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度 /1年/472.5時間	

授業計画及び学習の内容			
回数	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
①縫製技術を学ぶ			
1～3		ピンクッション製作<2～3>	デザイン・製図・裁断・実習
4～6			↓
7～9			まとめ・仕上げ
10～12		基礎縫い<6>	裁断・実習
13～15			↓
16～18		<PM>日暮里生地屋案内&買い物 トートバッグ製作<4>	
19～21			↓
22～24			製図・パターンM
25～27			地直し・裁断・印つけ
28～30		セミタイトスカート製作<6>	本縫い
31～33			↓
34～36			まとめ・仕上げ
37～39			製図・パターンM
40～42			裁断・印つけ
43～45			本縫い
46～48		シャツ製作<9>	↓
49～51			製図・パターンM
52～54			裁断・印つけ
55～57			本縫い
58～60			↓
61～63			製図・パターンM
64～66			裁断・印つけ
67～69			仮縫い合わせ
70～72			↓
73～75		ワンピース製作	製図・パターンM
76～78			裁断・印つけ
79～81			仮縫い合わせ
82～84			↓
85～87			
88～90			↓
②基礎製図を学ぶ			
1～3		採寸	採寸説明と実習 BCクラス休講
4～6		採寸	原型 レディース原型
7～9		基礎製図	↓ 第二原型
10～12			メンズ原型
13～15			セミタイトスカート
16～18		ダーツの展開	①Wダーツ・②肩ダーツ・③袖ぐりダーツ
19～21			ショールカラー(部分)・④斜め脇ダーツ
22～24		基礎製図	ドロップショルダーシャツ
25～27		ダーツの展開	⑤後ろ袖ぐりダーツ・⑥パネルライン・⑦デザイン線利用
28～30			⑧ヨーク(1)・⑨ヨーク(2)・⑩ボートネック(ギャザー入り)
31～33		基礎製図	デニムスカート
34～36			ギャザースカート
37～39			フレアスカート
40～42			ワンピースドレス
43～45			フレンチスリーブワンピースドレス
46～48			ワンピーススリーブ基礎型(部分)・袖山バフスリーブ(部分)
49～51			フラットカラー(部分)
52～54		ワンピース製作	<造形に準ずる>
55～57			
58～60			
61～63			
64～66			
67～69			
70～72			
73～75			
76～78			
79～81			
82～84			
85～87			
88～90			まとめ

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

スカートやシャツ、ワンピースの制作を通して縫製技術や基礎製図を学ぶ。  
担当教員は、衣装製作や縫製技術のエキスパートである3名が技術指導にあたる。

授業科目名	服飾史	講師名	古賀 由紀夫
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	古代から現代までの衣服の歴史		
授業の到達目標・ テーマ	衣服の歴史を知り、素材から形までを理解しデザイン、スタイリングに活かす。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	世界服飾史 深井晃子		
授業課題	ペーパーテスト		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度 /1年前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月9日	オリエンテーション	なぜ衣服を着るのか、何を着たのか
2	4月16日	古代エジプト、メソポタミア	布を巻く
3	4月23日	古代ギリシャ、古代ローマ	大きな布を巻く
4	4月30日	ビザンチン、ロマネスク	形を作る
5	5月7日	ゴシック、ルネサンス	キリスト教と文化
6	5月14日	バロック、ロココ	宮廷と装飾
7	5月21日	フランス革命、ナポレオン	近代の衣服
8	5月28日	市民革命、産業革命	記事の量産、材料の変化
9	6月4日	世紀末	ファッションと文化、芸術
10	6月18日	20世紀	ヨーロッパ、アメリカの発展
11	6月25日	第一次大戦	女性の活躍
12	7月2日	アール・ヌーヴォー、アール・デコ	生活と芸術
13	7月9日	ペーパーテスト	
14	7月16日	アメリカの時代、第2次大戦、戦後	世界恐慌、オートクチュール
15		テスト	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 古代エジプトから現代までの服飾の歴史を講義する。 担当教員は素材のスペシャリストとして、学生の疑問に応じて授業を進行する。			



科目(教科名)	就職ガイダンス		講師名	副田 勝久	
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース		分別(必修・選択・ 自由選択)	必修	
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義		場所 (校内・校外)	校内	
授業科目 概要	就職活動に対する意識と知識を醸成する。				
授業の到達目標・ テーマ	求人情報を調べ、エントリーでき、提出書類を記入して説明会に申し込みができる。				
企業連携 (連携企業)					
使用教科書 他教材	オリジナルテキスト				
授業課題	エントリーシート、履歴書が書ける				
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)		2020年度 /1年後期/52.5時間		
授業計画及び学習の内容					
回数	月日	ステップ・課題目的・目標	内容		
1	9月	大好きなことを仕事にしよう!	就職意識アンケート、就活スケジュール提示。		
2		業界研究①	アパレル業界の仕組みと現状について。		
3		業界説明会①	*アパレル企業人事部をお呼びして業界(企業)説明会実施。		
4		業界研究②	ファッションとマーケティング、アパレル業界の問題点。		
5	10月	業界説明会②	*アパレル企業人事部をお呼びして業界(企業)説明会実施。		
6		業界研究③	アパレル業界の職種と職場マナーについて。		
7		求人情報の調べ方①	就活サイトの活用と情報収集、エントリーについて。		
8		求人情報の調べ方②	興味ある企業を20社リストアップし、その理由も記入。		
9	11月	卒業生の就活体験①	*活躍する卒業生をお呼びして就活体験談をトークしてもらう。		
10		卒業生の就活体験②	*活躍する卒業生をお呼びして就活体験談をトークしてもらう。		
11		企業研究①店舗調査地域の決定	リストアップ企業から人気企業を数社選び、それぞれの店舗が集中する商業地域		
12		企業研究②店舗調査会(外出授業)	あらかじめ、グループ別に調査店舗を2~3店決めておき、店舗調査会を実施す		
13	12月	企業研究③発表会	店舗調査の結果をグループごとにレポートを作成、そのレポートに基づいて、グ		
14		エントリーシート、履歴書の作成	志望理由の書き方等を指導。		
15		就職試験対策①筆記試験	適性試験、SPI、一般常識等の解説。		
16		志望企業リストアップと就活準備、就職室活用	志望企業の選定と入社試験前に準備すべきことの各自チェック。		
17	1月	面接練習会①グループ面接	志望企業を想定した模擬グループ面接		
18		面接練習会②個別面接	志望企業を想定した模擬個人面接		
19		面接会	就活スタートに向けて具体的な演習		
20		テスト			
21		テスト			
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。					
[授業の特徴・形式と教員紹介] 業界の動向を探りながら翌年度の就活に備える授業を展開する。 担当教員は、都内百貨店で社員のマナー教育を務め、専門学校での就職担当として長年、就職指導にあたっている。豊富な指導経験で学生の就活準備をバックアップする授業を展開していく。					

授業科目名	トレンド分析/産学連携		講師名	大滝 秀一
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース		分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義・演習		場所 (校内・校外)	校内90% / 校外10%
授業科目 概要	コレクショントレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。それをリアルに体験するために実践的に産学授業を取り込みアパレル業界の今を体験する。			
授業の到達目標・ テーマ	ファッショントレンドの流れを把握するためにコレクションブランド分析を行う。そして今シーズンのトレンドの流れを踏まえつつ産学先のブランドに対して商品企画提案を行う。各社より課題テーマをいただき実際のアパレル業界が行っている手法での演習結果を業界のプロに提案し評価のフィードバックをいただく。			
企業連携 (連携企業)	(株)クレヨン、(株)玉屋			
使用教科書 他教材	モードエモード、講師資料、産学先資料			
授業課題	商品企画課題、産学提携プレゼンテーション課題。産学課題の評価に関しては先方から10段階評価をいただく予定。			
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)		2020年度/2年/87.5時間	
授業計画及び学習の内容				
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容	
1	2020/4/14	トレンド分析と商品企画とは？	JILL STUART のシーズン商品のデザイン展開課題	
2	2020/4/21	2019F/Wのコレクショントレンド分析		
3	2020/4/28	↓	5つのブランドをピックアップ	
4	2020/5/12	↓	スタイリング・素材・カラー柄・アイテム分析 提出	
5	2020/5/19	年代別特徴まとめ	レポート(パワポ)	
6	2020/5/26	雑誌編集企画テーマに合った商品企画	絵製作成(平絵にて)	
7	2020/6/2	↓		
8	2020/6/9	クレヨン店舗リサーチ	銀座のLois CRAYON教習屋橋店、LA BOUTIQUE Lois CRAYON 西銀座店	
9	2020/6/16	リサーチした結果をレポートにまとめる	パワポにて	
10	2020/6/23	(株)クレヨン本社訪問	2020 F/Wのシーズンコンセプトの説明及び課題	
11	2020/6/30	産学課題作成		
12	2020/7/7	↓		
13	2020/7/14	↓		
14	2020/9/1	産学課題提出確認	提出	
15	2020/9/8	(株)クレヨン様講評予定	MD・人事来校予定 個別の講評いただく	
16	2020/9/15	マイブランド企画	コンセプト キーワード	
17	2020/9/29	↓	シーズンテーマ(イメージ) ファブリケーション	
18	2020/10/6	↓	商品企画S/S F/W 2シーズン	
19	2020/10/13	↓	15型 3つ3体×2=30型	
20	2020/10/20	↓	提出	
21	2020/11/10	玉屋ブランドリサーチ チームにて	リサーチ課題提出(パワポ)	
22	2020/11/17	(株)玉屋東京本社訪問	企業説明及びブランドに関してレクチャーいただく	
23	2020/11/24	企画商品グループ案作成	チームにて	
24	2020/12/1	↓	社内コンペにトライする(チャンスバンクプロジェクト)	
25	1月	社内コンペにトライ		
26				
27				
28	2月			
29				
30				
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 前半は講義を進め、企業と連携した産学連携の授業を行う。担当教員はJILLSTUARTなど数々のアパレルブランドのプロデューサーを手掛け、サンエーグループ会社の社長に就任した経験があり、その経験と人脈を活かして産学連携の授業を展開する。				



授業科目名	工業パターン製図実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	平面製図、立体裁断の技術演習。製品製図とグレーディング。		
授業の到達目標・ テーマ	パターン検定試験3級取得(レベル)		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	池田教科書・パターンメイキング検定テキスト・プリント類・その他		
授業課題	CADの使い方を習得出来たかどうか		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/2年・後期/52.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	9月	アパレル企業デザイナー・パタンナーとは	基礎知識
2		デザインとパターンの関係	原型の上手な使い方
3			ダーツの意味とデザインとしての活かし方
4			々
5	10月		々
6			切り替えの面白さと遊び方
7			々
8			々
9	11月	卒業作品制作	モデルの原型作成
10			シーチング縫い
11			シーチングチェック
12		卒業作品制作	製図
13	12月		々
14			々
15			シーチングチェック
16			々
17	1月	作品制作	実物制作
18			々
19			々
20			々
21	2月	テスト	テスト
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] パターン検定にも合格できるよう実技中心の授業とする。 担当教員は、企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数、縫製に関する本も出版している。豊富なテクニックを学生に伝授していく。			

授業科目名	服飾造形実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	シャツ・ジーンズ・オリジナルデザイン軽衣料		
授業の到達目標・ テーマ	メンズシャツ仕立ての縫製工程を覚える。 ジーンズのポケットと比翼仕立てファスナー付けを覚える。 ジャケットの製図を学ぶ。		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	池田の教科書		
授業課題	基本的な縫製工程を把握できたか		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/2年・前期/135時間(通年375時間)	
授業計画及び学習の内容			
回	月日	ステップ・課題・目標	
1～4	4/8...9	自分の原型を作成	シーチング仮縫いをする
5～8	4/15 16	々	々
9～12	4/22 23	シャツの製図をする	自分の原型を使用して製図する
13～16	5/13 4/30	シャツ作成	裁断・芯貼り
17～20	5/20 5/7		縫製
21～24	5/27 5/14		々
25～28	6/3 5/21	ジーンズの製図をする	自分の寸法で製図をする
29～32	6/10 5/28		シーチング仮縫いをする
33～36	6/17 6/4	ジーンズ作成	裁断・芯貼り
37～40	6/24 6/11		縫製
41～44	7/1 6/18		々
45～48	7/8 6/25	4面構成ジャケットの製図	9ARの原型を使用して製図をする
49～52	7/15 7/2		々
53	7/9		々
54	7/16	前期終了ショー 前日	制作をする
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 縫製工程を身につける実技中心の授業とする。 担当教員は、企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数、縫製に関する本も出版している。豊富なテクニックを学生に伝授していく。			

授業科目名	就職キャリアデザイン	講師名	副田 勝久
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ファッション・アパレル業界の中で、どのようにキャリア形成していくか理解させる		
授業の到達目標・ テーマ	実際に就職する企業において、キャリアプランを作成できるようにする。		
企業連携 (連携企業)	一般社団法人日本専門店協会と連携し、その加盟企業の人事部と交流		
使用教科書 他教材	オリジナルプリントを作成		
授業課題	レポート提出と定期テスト		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/2年・前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月7日	オリエンテーション	
2	4月14日	アパレル企業でのキャリアデザイン1	キャリア形成プラン事例1
3	4月21日	アパレル企業でのキャリアデザイン2	キャリア形成プラン事例2
4	4月28日	アパレル企業でのキャリアデザイン3	キャリア形成プラン事例3
5	5月12日	キャリア形成プランを作成しよう	個人ワーク
6	5月19日	社会人基礎力について	自分の足りないものの理解
7	5月26日	働くことについて	職業理解により自分が学ぶべき事項について理解
8	6月2日	自己理解ワーク	TEGテスト実施、エゴグラムによる自己分析
9	6月9日	右脳左脳	右脳左脳について学習して職業適性を考える
10	6月16日	アパレル企業でのキャリアデザイン4	キャリア形成プラン事例
11	6月23日	会社組織、労働法	働くうえで必要な労働法、社会保険等について
12	6月30日	社会保険、会計知識、給与の話	社会生活に必要な知識
13	7月7日	未来の働き方/自分のキャリアプラン	これからの時代における自分の働き方についてレポート
14	7月14日	定期テスト	定期テスト
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] アパレル企業の実例をあげて、自分自身のキャリア形成を考えさせる。 担当教員は、都内の百貨店で社員教育等を経験、専門学校で就職指導を長年担当し、学生のキャリア形成のアドバイスを的確に行う。			

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	講師名	リビ 裕子・ 鷲 典子・ 熊木 裕子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必須
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ファッションショーのテーマおよびカテゴリー名を決める。衣装デザインを準備する。		
授業の到達目標・ テーマ	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	ノートパソコン		
授業課題	協調性・自己主張・デザインの発想力を見る。		
合計時間数	(1コマ/2.5H計算)	2020年度/2年・前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	リーダー決定	全体テーマ出し
2	4月17日		仮決定
3	4月24日		プレゼンテーション準備
4	5月1日		理事長にプレゼンテーションをする
5	5月8日	カテゴリー案出し	話し合い
6	5月15日		仮決定
7	5月22日		担当分け
8	5月29日		プレゼンテーション準備
9	6月5日		々
10	6月12日		理事長にプレゼンテーションをする
11	6月19日	カテゴリーごとに分かれて	デザイン発想
12	6月26日		々
13	7月3日		デザインの打ち合わせをする
14	7月10日		々
15	7月17日	前期終了ショー	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 担当教員は、企業パタンナーのベテラン、舞台衣装製作の第一人者、縫製企業で縫製やCADの勤務を経験した者3名卒業制作ファッションショーに向けて、プレゼンテーションを準備する授業を展開する。			

授業科目名	卒業制作実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	オリジナルデザインの服を制作する		
授業の到達目標・ テーマ	授業の課題で習得した事をさらに向上させる		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	池田の教科書・今までに勉強して来たノート		
授業課題	これまで学んで来た事を十分に活かしているかどうか		
合計時間数	(1コマ/2.5H計算)	2020年度/2年・前期/37.5時間(通年157.5時間)	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	前期終了ショー作品制作	クラスでアイデアを出し合う
2	4月17日		各自デザイン画を描く
3	4月24日	製図	製図をする
4	5月1日		々
5	5月8日		々
6	5月15日		シーチング仮縫い
7	5月22日		々
8	5月29日	縫製	生地裁断・芯貼り
9	6月5日		々
10	6月12日		縫製
11	6月19日		々
12	6月26日		々
13	7月3日		々
14	7月10日		完成
15	7月17日	前期終了ショー	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 卒業制作に向けて、オリジナルデザインの服を制作する。 縫製工程を身につける実技中心の授業とする。 担当教員は、企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数、縫製に関する本も出版している。豊富なテクニックを学生に伝授していく。			



授業科目名	Mac演習2	講師名	梨本
実施 学科・クラス	アパレル造形科デザイナーコース	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)の更なる技術取得		
授業の到達目標・ テーマ	Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得 ポートフォリオ作成及びプレゼンテーション(実施のための知識と周辺機器(プリンターなど)操作)		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	なし		
授業課題	課題作成による知識と技術/期末テストによる基礎知識確認		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/2年/前期 37.5/後期50 /通年87.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月6日	オリエンテーション	
2	4月13日	授業内容説明	イラレ・フォトショ中級レベル認識と内容理解
3	4月20日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	1年生おさらいのための課題(イラレフォトショ連動カラーージュ)
4	4月27日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレベジェ曲線練習課題
5	5月11日		↓
6	5月18日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレトレースツール・エンベロープ練習
7	5月25日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ遠近法描画練習
8	6月1日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショマスク・カラー特殊設定方法等練習
9	6月8日		↓
10	6月15日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ連動ポートフォリオ制作
11	6月22日		↓
12	6月29日	期末テスト	期末テスト(筆記) & ポートフォリオ修正確認
13	7月6日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ連動ポートフォリオ制作
14	7月13日		イラレ・フォトショ連動ポートフォリオ提出
15	7月20日		これまでのまとめ
<後期Ⅰ・Ⅱ>			
1	9月7日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ高度トレース課題(海外の広告トレース)
2	9月14日		↓
3	9月28日		↓
4	10月5日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ連動 雑誌広告デザイン
5	10月12日		↓
6	10月19日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショのみでの映画ポスター制作
7	11月2日		↓
8	11月9日		↓
9	11月16日		映画ポスター提出
10	11月30日	小テスト実施	イラレツール小テスト&答え合わせおよび解説
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] ソフトウェアの技術を向上し具体的なデザインを作成する。 担当教員は株式会社ワールドで新ブランドを立ち上げ、企画デザイン、MD、VMD、グラフィックデザイン等を担当。 豊富な実務経験を活かし、業界の即戦力となるための授業を展開する。			